

大人への一步を踏み出すみなさんに

中学生版

BOOK LIST



今日は何を読もう？

—ブックリストの使い方—

本は、毎日の生活を豊かに楽しくしてくれます。「何を読もう？」と迷ったらぜひこのブックリストを参考にしてください。

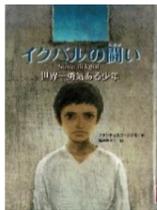
ノートを読書のパートナーに！

—自分で作る読書ノート—

「読んだことのある本なのに、なぜか内容が思い出せない」という経験はありませんか。本を読んだ後に、その**内容や感想を簡単なメモに残すと記憶が定着する**と言われています。このパンフレットの裏面は「自分で作る読書ノート」になっています。ぜひこのノートをおあなたの読書のパートナーにしてください。世界にひとつ、あなただけのノートは、中学生時代の素晴らしい財産となるでしょう。



明日につづくリズム
八東澄子／著
ポプラ社
瀬戸内海に浮かぶ因島に暮らす中学3年生の千波が、進路や家族、友情に悩み、迷う姿を生き生きと描く。



イクバルの闘い -世界一勇気ある少年-
フランチェスコ・ダダモ／作
荒瀬ゆみこ／訳
鈴木出版
知っていますか？今も、じゅうたん工場で、朝から晩まで奴隷のように働かされる子どもたちのことを。



おれたち戦国ロボサッカー部!
奈雅月ありす／作
ポプラ社
織田信長命の中学2年生ノブオは、いやいや転校した三河の中学校で、ロボットサッカー部に入部することに…。



千の風になって
原詩・作者不明 新井満／日本語詩
講談社
「死ぬこと」で失われるものは、本当はないのかもしれない。この本は、そんなことを考えさせてくれる。

一瞬の風になれ 1～3
佐藤多佳子／著
講談社
春野台高校の陸上部を舞台にした青春小説。真こと蓮の二人がひたすら走りながら、成長していく。



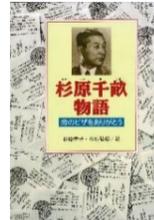
どろぼうの神さま
コルネリア・ファンケ／著
細井直子／訳
WAVE出版
大人なんかに頼らずに生きていきたい。そんな願いを叶えてくれる”どろぼうの神様”と子どもたちの物語。



しゃべる詩あそぶ詩きこえる詩
はせみつこ／編
富山房
思わず体が踊り出し、言葉が詩になっていく。不思議な魔法にかからぬようにご用心を。



杉原千畝物語 命のビザをありがとう
杉原幸子／著 杉原弘樹／著
金の星社
第二次世界大戦が迫る中、ナチスの迫害を逃れてきた人たちに、愛と勇気を持ってビザを渡し続けた一外交官の物語。



夜のピクニック
恩田陸／著
新潮社
全校生徒が夜を徹して80キロ歩き通すという、北高の伝統行事「歩行祭」。貴子は小さな賭をすることにした。



園芸少年
魚住直子／著
講談社
偶然に出会った少年たち。ひよんなことから園芸部で活躍することに…。彼らはどんな花を咲かせるのだろうか？

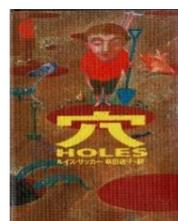


サリーの帰る家
エリザベス・オハラ／作
もりうちすみこ／訳
さ・え・ら書房
読書が好きで、夢見がちなサリー。遠く離れた農場で働くようになり、思いやりある一人前の娘に成長していく物語。



職業外伝
秋山真志／著
ポプラ社
絶滅寸前の職業の数々を、それを愛してやまない達人達の生き様を織り交ぜて紹介する”ハローワーク外伝”。

穴 HOLES
ルイス・サッカー／作
講談社
無実の罪で矯正キャンプに放りこまれたスタンリー。友情とプライドをかけ、穴の向こうへ踏み出した。



江戸小ばなし
子ども、おとも楽しめる 1～5
岡本和明／文
フレーベル館
絵で読む江戸小ばなし。これで落語が、100倍おもしろくなる。



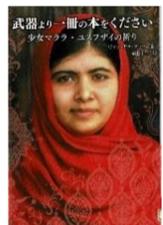
「自分の木」の下で
大江健三郎／著
朝日新聞社
ノーベル賞作家が若い読者のために書いた人生論。「なぜ学校へいくのか」「どうして生きてきたのか」を自分の体験からわかりやすく語る。



木を植えた男
ジャン・ジオノ／著
あすなる書房
自分の利益を考えず、ひたすらたった一人で森をよみがえらせたブルフィエの半生。



光のうつしえ
朽木祥／作
講談社
知っているようで知らない「あの日」。ヒロシマは、何を奪い、何を残したのか。灯籠が映す、様々な思い。



武器より一冊の本をください
-少女マララ・ユスフザイの祈り-
ヴィヴィアナ・マツツア／著
横山千里／訳
金の星社
「女性というだけで学校で勉強する機会を奪われたくない」と訴えた少女マララは、タリバンに銃撃された。



鈴の鳴る道
星野富弘／著
借成社
口にくわえた筆から、心にしみる詩と絵が生まれた。



なによりも大切なこと 心の友だち
あさのあつこ／著
PHP研究所
10代の揺れる思い、強い気持ち、ドキドキする言葉が書かれたあさのあつこさんのエッセイ。10代の揺れる心を包むおまじりのような本。

風をつむぐ少年	ポール・フライシュマン／著 片岡しのぶ／訳	あすなる書房	交通事故という重いテーマを、17才の加害者の視点から、描き、傷ついた魂が、再生していく姿を描いている。
アーモンド入りチョコレートワルツ	森絵都／作	講談社	3つのピアノ曲からうまれた物語のワルツ。優しい心をきゆんとさせ、とっておきの短編集。
すごい虫の見つけかた	海野和男／写真・文	草思社	昆虫写真の巨匠が、昆虫の視点で撮影した40点余りの写真に説明を加えた、躍動感あふれるオールカラーの写真集。
空色勾玉	萩原規子／作	徳間書店	神々がまだ地上を歩いていた古代日本を舞台としたファンタジー。「勾玉」シリーズ3部作の第1弾。
夢をつかむイチロー262のメッセージ	『夢をつかむイチロー262のメッセージ』編集委員会／著	ぴあ	何のために、何をすべきなのか。モンスター級ともいえる巨大なプレッシャーに立ち向かう続けているイチロー選手からの262のメッセージ。
ぼくのお姉さん	丘修三／著	借成社	生きているって楽しいこと。でも、人にはいろいろな苦しみや悲しみがあるもの。他人の苦しみや悲しみが分かる人間になれる一冊。
未来のおとなへ語るわたしが冒険について語るなら	三浦雄一郎／著	ポプラ社	だれもやったことがないこと、それが冒険。アドベンチャー・スキーヤーの第一人者であり、2003年に世界最高齢エベレスト登頂記録(70歳7ヶ月)を樹立した三浦洋一郎が語る挑戦のすすめ。
リバウンド	Eウォルターズ／作 小梨直／訳	福音館書店	ショーンと車いすに乗った転校生デーヴィッド。バスケットボールが好きで好きな二人が乗り越えるものとは…。
天山の巫女ソニン	菅野雪虫／作	講談社	<夢見>を行える巫女だけが住む天山で育ったソニン。里に返され、慣れない生活の中、困難に懸命に立ち向かう。
父の詫び状	向田邦子／著	文藝春秋	怒りっぽくてわがままな父親の本当の素顔に触れてみよう。
チェラブ 英国情報局秘密組織 Mission1～10	ロバート・マカモア／作 大澤晶／訳	ほるぷ出版	CHERUB(チェラブ)とは、子供のスパイ機関。大人では果たせないようなミッションを果たす、英国情報局の裏の組織である。チェラブで活躍するスパイは、皆17歳以下。危険な任務が、今、始まる。
マザー・テレサ -あふれる愛-	沖守弘／著	講談社	貧しい人々の中でも、最も貧しい人々のために尽くすマザー・テレサの生き方。
夕暮れのマグノリア	安東みきえ／作	講談社	夕暮れのほんのいつとき現れる不思議な出来事に出会うたび、灯子一つずつ大切なものに気づいていく。